



サンタクロース



ハッピーハロウィン

TSK

きゅうどうしゃ



No.68

編 集：社会福祉法人求道舎

〒039-2516 青森県上北郡七戸町字館野 32-15 TEL : 0176-62-3631 FAX : 0176-62-3694
E-mail : kyudosya@ruby.ocn.ne.jp ホームページ : <http://www.kyudosya.jp>

『愛に押し出されて』 インマヌエル十和田教会牧師 廣瀬善子



廣瀬善子牧師

名前に引かれつつ、又沼津時代細やかですが障害を持つ方々と関わっていましたので何かと気になりながら読んでいました。けれども教会の仕事で手一杯でしたので、それ止まりでした。

「いつまでも残るものは信仰と希望と愛、これが三つです。その中で一番優れてくるものは愛です。」
(第一コロント十三章十三節)

はじめまして。私が求道舎の評議員の端に加えさせて頂き三年になります。ただ名を連ねているだけの者で申し訳なく思っています。私は十和田で生まれ、神と教会に仕える信仰第一の家庭に育ち、中学一年の時に洗礼を受け、十八歳までいました。その後上京、その三年後神学校に入学。卒業と同時に

に牧師の道へ。静岡県の金谷田で一年、沼津で三十八年間、そしてまさかの転任で十和田教会に任命を受け九年が過きました。これから新会堂建設へ向かおうとする矢先

の転任は後ろ髪を引かれる思いでしたが、人の考え方や計画をはるかに超えた神の導きと最善が全ての中にあると信じて、日々奮闘中。その中で新しい繋がり、関係も出来つつあります。求道舎との出会いもその一つです。十和田教会着任後、或る時から機関紙が送られてくるようになります求道舎という

それが或る日突然、教会に野口忠子先生がご挨拶に来られ、初対面でしたが素晴らしいお交わりが与えられました。それから私たちも七回教会のコンサート、クリスマス会やバザー等への出席…。その他様々な交流の中で、気が付いたら求道舎の中に小さな一步を踏み入れておりました。

求道舎の創設の歴史に触れるたびに心に響いてくるのが「いつまでも残るものは信仰と希望と愛、そこで一番優れているものは愛です。」という冒頭の聖書のお言葉です。私たちの限りある人生「私たちの齢は七十歳。健やかであっても八〇歳。そのほとんどは労苦とわざわざです。瞬く間に時は過ぎ実。けれどもその中で確かに一つまだ残るもの「愛」があるといつもう一つの事実。本当にそれを知りそれに目を留めそれに向かって進むなら、そこに信仰と希望と愛が生まれるのではないかと思います。人の持つ能力や知識、努力や働きを超えたものです。

人の善意や決意、志も時と場合では持続し果たし続けることは困難です。愛でさえも状況や相手によって変化する」とあります。それではどうしたら私たちは聖書の教える愛に生きることができるのでしょうか。それは出発点をイエス・キリストに置くことですか。イエス・キリストの愛は、愛される価値の全くない罪ある全ての人を無条件で愛された愛です。それは十字架の死で表されました。この真の愛は今でも変わらなく全ての人へ向けられています。出発点は先づ愛される「」、被愛される「」、この真実な裏切らない愛を体験することです。愛の喪失、愛の混乱の時代に、枯渇する」とのない愛に押し出されて進めた幸いです。

求道舎一歩みは続く その(2)
理事長 小原 義夫

まず、昨年度もご寄付、労働提供
なびで当法人をご支援いただいた多
くの方々に心から御礼申し上げま
す。2020年6月の機関紙に続い
て「歩みは続く」の第2回のご報告
をします。

1 財政状況

2021年度が終り、決算が出
ています。6月の理事会、評議員会
でご審議いただき、ご承認をいただ
く運びとなっています。概要を纏め
ますと表の通りです。

2021年度決算 (単位:千円)	
福祉サービス収入	131,880
費用総計	120,926
(うち人件費)	87,323
当期収支差(資金収支)	10,954
年度末の財政状態	
流動資産	80,076
固定資産	234,060
流動負債	17,061
固定負債	111,178
純資産	185,896

支出の中には、年間約1000万
円の借入金の元利の返済が含まれて
おり、これをしなした上で収支差が
黒字となりました。ひとまず安心で
す。

当法人では、2021年度で年間
約540万円の給付を受けています

が、この配分方法は、(イ)基本給へ
の組み入れ、(ロ)賞与の時期の一時
金の二種類についています。恒久感
のある(イ)を増やして行くつもり
です。

3 組織風土

私が着任して以来気に懸けて来た
のは、組織の雰囲気と安定さです。
おおざっぱに言って、おおばこ(七
戸)は人的に安定だが、変化を起す
す雰囲気が無い、クローバー(野辺
地)は職場に一体感という意が無い、
といふ印象でした。すぐ始めたのが
職員全員との面談でした。年度の初
めに目標設定、年度の終わりに達成
度確認、そしてその結果を人事考課
につなげるところ構想です。一対一
で話しますと、本人の役割や個性だ

りでなく、自然に職場の問題点まで
浮かび上がります。全体として
はとても有意義で、職員と職場の課
題が概略把握できることになって、
各人の待遇や人事配置の決定のため
に大変役に立ちました。尤も、ガードの固い職員もいて面談がつまく行
かない人が出てくることも事実で
す。一年間は理事長が全員面談をや
り、三年目からは施設長に部下の面
談を移しました。看護の時期には、
この是正にも処遇改善加算の原資を
利用しています。

最後に、2021年度の人件費は
福祉サービス等事業収入の66%を
占めていますが、一般的にこの種の
法人経営に望ましい水準となっています。
最後に、2021年度の人件費は
福祉サービス等事業収入の66%を
占めていますが、一般的にこの種の
法人経営に望ましい水準となっています。
私は在任四年の間にクローバー
作業所では、多くの職員が職場を去
り、多くの人が新しく加わっていま
す。昨年には、解雇した従業員に労
働審判の訴えを起こされました。係
争は終わりましたが、面談というコ
ミニケーションの方法が必ずしも
うまくは行かない例です。こうこう
ことを経て、クローバー作業所は随
分明るく、風通しの良い職場に変わ
りました。またこの四年間で施設設
立地も、施設長を始め幹部の大幅な若
返りが進み、リーダーになったそれ
ぞれが意欲的に業務に取り組んでく
れています。おおばこも変化を感じま
す。求道舎の今後は期待が持てるど
思っています。

けでなく、自然に職場の問題点まで
浮かび上がります。全体として
はとても有意義で、職員と職場の課
題が概略把握できることになって、
各人の待遇や人事配置の決定のため
に大変役に立ちました。尤も、ガードの固い職員もいて面談がつまく行
かない人が出てくることも事実で
す。一年間は理事長が全員面談をや
り、三年目からは施設長に部下の面
談を移しました。看護の時期には、
この是正にも処遇改善加算の原資を
利用しています。

当法人も、費用の多くが人件費に
割かれています。職員が障がい福祉
に意欲を燃やしても、待遇がついて
行かないと継続するとは難しい。
職員の報酬を改善していくのが、經
営陣の使命です。このことは、行政
側にもよく理解されていて2018
年度から、「処遇改善加算」「特定処
遇改善加算」「処遇改善臨時特例交
付金」と相次いで支援費が増額され
ています。

おおばこ作業所

【毎日の授産作業と収入】

おおばこ作業所で現在みんなで取り組んでいる作業を紹介します。下請け作業として、にんにくのこぼし(2つの事業所から)、セラミックがあります。

自主生産作業としては、落花生栽培、カシス栽培があります。それぞれ落花生、カシスジャムとして販売しています。

また、施設外就労として地元のこ



にんにくのこぼし



セラミックの点検と整列



落花生の収穫



カシスジャムの製造

△の加工所に出向き、長芋の皮むきと大根の並べと箱の組み立てを行っています。授産収入の役割を占めています。

2021年度の収入は、合計で563万円ほどでした。経費を差し引いた収入をもとにして、利用者さんに給料を支払っています。一人当たりの平均給料は1万4千30円になりました。



長いも皮むき（実習）



大根の並べ（実習）

クローバー作業所

【秋フェスinハロウィン】

昨年度の秋レクは、みんなでハロウィンの仮装をして、レクを行いました。職員が手作りした帽子をかぶったり、ヘアアクセサリーを付けたり、中には自分で衣装を準備してきてくれた利用者さんもいました。

次回のハロウィンでは、みんながどんな仮装をするのか、今からわくわくドキドキです。



【新年会】

今回の新年会も昨年度と同様、所内で利用者レクとして開催しました。今年は新年のお祝いと一緒に、喜寿（77歳）を迎えた中村のり子さんと成人（20歳）を迎えた佐藤麻菜さんのお祝いもしました。一人ともおぬごわごます!!



まだ難しこですが、職員・利用者一丸となって、樂しく過りました。

色々な事にトライしてこらめたいと思います。



【ご協力への感謝とお願い】

昨年度は、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる協力いただき、ありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、利用者の活動に役立てることが出来ました。

今年度も黄色いレシートキャンペーンの団体に登録出来ましたので、引き続きご協力お願いいたします。

2022年度 役員(理事・監事)、評議員、評議員選任・解任委員

職員人事異動

中津一洋、法人事務局長に 棟方朋彦、クローバー作業所施設長に

法人事務局

中津 一洋	事務局長
伊瀬谷秀史	事務局次長
小原 梨奈	事務局員

おおばこ作業所(就労継続支援B型)

附田 賢治	施設長
田島 一子	サービス管理責任者
中津 一洋	支援員
中村 沙織	支援員
松山奈緒子	支援員
伊瀬谷秀史	支援員
工藤真莉香	支援員
小田 弘子	支援員
小原 梨奈	事務員
井 康子	調理員

クローバー作業所(就労継続支援B型)

棟方 朋彦	施設長
佐藤 優子	サービス管理責任者
安田 知子	支援員
山村 毎乃	支援員
中道 友美	支援員
杉山 隆広	支援員
斎藤麻衣子	調理員
熊谷由理子	調理員

生活介護事業所クローバー

棟方 朋彦	施設長
佐藤 優子	サービス管理責任者
成田 節子	支援員
北村 京子	看護職員

相談支援事業所クローバー

棟方 朋彦	管理者
安田 知子	相談支援専門員

グループホームたんぽぽ

中津 一洋	管理者
中村 沙織	サービス管理責任者
新館 幸子	世話人
山内 恵	世話人

2021年の6月に、理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員の改選がありました。新たに4

名の方に就任いたしました。
また、4月からの職員配置も変更がありました。法人の事務局長

役員会(理事6名・監事2名)

理事長 小原 義夫
理事 櫻田 明
理事 附田 賢治
理事 野口 忠子
理事 棟方 朋彦 ☆
理事 米内山正義
監事 戸館 秀雄
監事 盛田 安和 ☆

評議員会(7名)

評議員 小原 佳之
評議員 片石 康輔
評議員 甲田 安子 ☆
評議員 澤橋 登
評議員 白戸 清
評議員 高田 武志
評議員 廣瀬 善子

評議員選任・解任委員会(3名)

委員長 戸館 榮一
委員 戸館 秀雄 ☆
委員 中津 一洋

☆印は新任

中津事務局長は七戸町の法人本部、棟方施設長は野辺地町のクローバー作業所の勤務となります。久しぶりに七戸と野辺地の人事交流となりました。

が、伊瀬谷からクローバー作業所施設長だった中津一洋に交代しました。中津の後任には棟方朋彦法人事務局次長が就任しました。それに伴い理事も中津から棟方に交代しました。

中津事務局長は七戸町の法人本部、棟方施設長は野辺地町のクローバー作業所の勤務となります。久しぶりに七戸と野辺地の人事交流となりました。

▼第68回をお送りいたします。前回30周年記念回を発行いたしましたが、機関紙が30年たつ回数を重ねました。感謝賀いものがありまし。▼ページの段組みを変更しました。1ページの段から4段に、文字数も1行13文字から15文字(今回16文字もあります)になりました。1ページの段組みを変更しました。1ページの段から4段に、文字数も1行13文字から15文字(今回16文字もあります)になりました。ちなみに今回の廣瀬牧師の記事は、本文が1215文字で、400字詞の原稿用紙3枚強となるのか。1回半をおかなければなりません。(伊瀬谷秀史)

編集後記